

令和9年度

宮崎大学大学院工学研究科

修士課程

学生募集要項

一般選抜
社会人選抜

令和8年6月

宮崎大学大学院工学研究科

1. アドミッション・ポリシー

1. 教育理念（教育理念・目標、育成する人材像）

工学研究科では、学部教育と連携した専門的かつ先端的な専門技術を修得できる教育を行い、将来、産業界などで活躍できる実践的な応用力を有する高度専門技術者及び研究者の育成を目指します。

また、以下の[入学者受け入れ方針（求める人材像）]に示す意欲と能力を持った人を国内外から積極的に受け入れます。

2. 入学者受け入れ方針（求める人材像）

1. 専門的かつ先端的な高度技術を修得するために必要な専門基礎学力を有する人
2. 自主的積極的に学び、研究意欲のある人
3. 研究開発に必要な日本語や英語の語学力を有する人

3. 入学者選抜の基本方針

1. 上記の[入学者受け入れ方針（求める人材像）]に沿って、多面的・総合的に選抜します。
2. 客観的で透明性のある方法によって、公平に選抜します。

[選抜区分による選抜方法及び評価の観点]

上記の[入学者受け入れ方針（求める人材像）]で示す能力を有する人を多面的・総合的に評価するために、以下の方法により選抜します。

①一般選抜

入学者の選抜は、面接試験（口述試験を含む）、書類審査及び外部外国語試験の成績を総合的に判断して行います。

面接試験（口述試験を含む）では、主として専門分野の知識・技能、思考力、主体性、学問への関心、専門分野への意欲を評価します。

書類審査では、知識・技能を評価します。

外部外国語試験の成績では、語学力を評価します。

②社会人選抜

入学者の選抜は、面接試験（口述試験を含む）、書類審査及び外部外国語試験の成績を総合的に判断して行います。

面接試験（口述試験を含む）では、主として専門分野の知識・技能、思考力、主体性、学問への関心、専門分野への意欲を評価します。

書類審査では、知識・技能を評価します。

外部外国語試験の成績では、語学力を評価します。

③外国人留学生入試

入学者の選抜は、面接試験（口述試験を含む）、書類審査及び外部外国語試験の成績を総合的に判断して行います。

面接試験（口述試験を含む）では、主として専門分野の知識・技能、思考力、主体性、学問への関心、専門分野への意欲を評価します。

書類審査では、知識・技能を評価します。

外部外国語試験の成績では、語学力を評価します。

2. 専攻・コース及び募集人員

【第1次募集】

専攻	コース	募集人員
工学専攻	先端情報コース 環境コース 電気・半導体コース 機械コース	144人

(注1) 募集人員には、社会人選抜及び外国人留学生入試の募集人員を含みます。

(注2) 出願に際しては、必ず希望する指導教員(12~15ページ参照)に教育研究内容等について問い合わせの上、出願してください。「志願票」及び「受験票」、「写真票」の希望する指導教員欄の第1希望は必ず登録してください。

【第2次募集】

専攻	コース	募集人員
工学専攻	先端情報コース 環境コース 電気・半導体コース 機械コース	若干人

(注1) 出願に際しては、必ず希望する指導教員(12~15ページ参照)に教育研究内容等について問い合わせの上、出願してください。「志願票」及び「受験票」、「写真票」の希望する指導教員欄の第1希望は必ず登録してください。

(注2) 第2次募集は、実施しない場合があります。

実施する場合は、令和8年11月頃本学ホームページによりお知らせします。

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/graduate-exam/selection/kougaku.html>

3. 出願資格

【一般選抜】

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者及び令和9年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び令和9年3月までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び令和9年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和9年3月までに修了見込みの者
- (5) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)又は専攻科(当該専攻科を置く専修学校の特定専門課程(学校教育法第125条の2第1項に規定する特定専門課程をいう。)における教育との連続性に配慮した教育課程を編成していることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和9年3月までに修了見込みの者
- (6) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号参照)
- (7) 令和9年3月末現在において大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得した者として、本研究科が認めた者
- (8) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた

教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和9年3月までに修了見込みの者

- (9) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和9年3月までに学士の学位に相当する学位を授与される見込みの者
- (10) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者にあつては、本学大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- (11) 本研究科において個別の入学資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和9年3月末までに22歳に達する者

〔注1〕 出願資格(2)の学士の学位を授与される見込みの者（以下「学位取得見込者」という）とは、学位規則第6条第1項の規定に基づき大学改革支援・学位授与機構が定めている要件を満たすものとして認定を受けている短期大学及び高等専門学校の特攻科を令和9年3月までに修了見込みの者で、当該者が学士の学位の授与を申請する予定であることを当該専攻科の置かれる短期大学長又は高等専門学校長が証明できる者をいう。

〔注2〕 出願資格(7)、(10)または(11)により出願する者は、資格審査を行うので、あらかじめ工学部教務・学生支援係へ申し出て、資格審査のための書類を取り寄せ、4. 出願手続「(3) 提出書類」の「②③出願者が準備する必要提出書類」と併せて提出し、事前審査を受けてください。なお、提出された書類等についてはいかなる理由があつても返還しません。

書類等の提出期限及び事前審査の結果通知日は、次のとおりです。

【第1次募集】 書類等は、令和8年6月26日（金）までに提出してください。

事前審査の結果は、令和8年7月1日（水）までに本人へ通知します。

【第2次募集】 実施する場合、本学ホームページによりお知らせします。

【社会人選抜】

研究機関、教育機関、企業等に勤務して入学後もその身分を有し、所属長の推薦を受けた者で、次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により大学改革支援・学位授与機構から、学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）又は専攻科（当該専攻科を置く専修学校の特定専門課程（学校教育法第125条の2第1項に規定する特定専門課程をいう。）における教育との連続性に配慮した教育課程を編成していることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号参照）
- (7) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であつて、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (8) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学

校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者

(9) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者にあつては、本学大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者

(10) 本研究科において個別の入学資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和9年3月末までに22歳に達する者

〔注1〕 出願資格(9)または(10)により出願する者は、資格審査を行うので、あらかじめ工学部教務・学生支援係へ申し出て、資格審査のための書類を取り寄せ、4. 出願手続「(3) 提出書類」の「②③出願者が準備する必要提出書類」と併せて提出し、事前審査を受けてください。なお、提出された書類等についてはいかなる理由があっても返還しません。

書類等の提出期限及び事前審査の結果通知日は、次のとおりです。

【第1次募集】書類等は、令和8年6月26日(金)までに提出してください。

事前審査の結果は、令和8年7月1日(水)までに本人へ通知します。

【第2次募集】実施する場合、本学ホームページによりお知らせします。

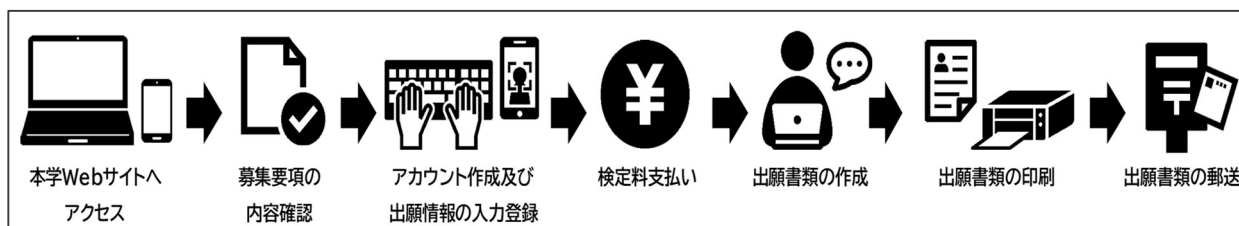
4. 出願手続

本学の出願方法は、Web出願のみとなっています。また、学生募集要項の紙媒体(冊子)での配布は行いません。入学を志願する者は、次の(1)～(4)により、手続を行ってください。

＜注意＞

Web出願システムで、出願情報を入力・登録し、検定料を支払う(以下、「Web出願登録という。」)だけでは、出願完了とはなりません。出願期間内に「(3)提出書類」を窓口への持参又は郵送(出願期間内に必着)を済ませ、内容に不備がなかった場合、出願完了となります。

(1) Web出願の登録と流れ



① Web出願システムによる登録

Web出願システムへは、本学ホームページ

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/graduate-exam/webapply.html>

からアクセスし、Web出願登録を行ってください。

なお、システムについてはパソコンからの操作を推奨します。

※Web出願登録期間については、第1次募集では令和8年6月30日(火)から事前に登録可能です。

第2次募集を実施する場合、本学ホームページによりお知らせします。



(2) 検定料の支払い

① 検定料：30,000円

・検定料に加えて、支払方法に応じたシステム利用料が必要です。

クレジットカード決済は600円、コンビニ決済及びPay-easy決済は300円です。

- ・国費外国人留学生は検定料の支払いが不要、本学の指定する激甚災害により被災した志願者については、検定料免除の特別処置を希望することができます。出願前に必ず宮崎大学工学部教務・学生支援係へ連絡してください。



※激甚災害により被災した志願者の入学検定料の免除について

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/admission/nk-menjo.html>

② 支払方法

クレジットカード決済、コンビニ決済、Pay-easy 決済が利用できます。

(注1). 支払いが完了すると、出願情報の修正はできません。必ず支払い前に入力した情報（特に、出願先や住所）に間違いがないか確認してください。

(注2). 提出書類受理後は、いかなる理由があっても検定料の返還には応じることができません。

ただし、一定の条件を満たした場合には返還されることがあります。詳しくは、「10. 注意事項」を確認してください。

(3) 提出書類

① Web出願システムに入力し、印刷するもの

提出書類	摘 要
志願票	Web 出願登録及び入学検定料支払い後、A 4 用紙に印刷したもの。 <u>検定料支払い後は、登録内容は変更できませんので支払い前に間違いがないか十分確認してください。</u>
履歴書	検定料支払い後、Web 出願システムの必要書類から入力し、A 4 用紙に印刷したもの。 <u>登録後は、登録内容は変更できませんので、間違いがないか十分確認してください。</u>

② Web出願システムにアップロードする必要があるもの

証明写真	志願者本人の顔写真のアップロードを行ってください。 (注) 写真は、志願者本人と判別できるもので、カラー・上半身・無修正・無帽・正面向き・無背景・直近3か月以内に撮影した 100KB～5 MB サイズの jpg 又は png データを使用してください。
------	---

③ 出願者が準備する必要提出書類

提出書類	一般 選抜	社会人 選抜	摘 要
成績証明書	○	○	出身大学の発行したもの、様式は特に指定しません。
卒業証明書 又は 卒業見込証明書	出願資格 (2)以外 の者	出願資格 (2)以外 の者	様式は特に指定しません。
外部外国語試験 成績証明書等	○	○	詳細は、6 ページ「【注意事項】外部外国語試験の導入について」をご覧ください。
在留カード及びパスポートの写し	○	○	日本に在住する外国人は、在留カード及びパスポートの写しを提出すること。海外に在住する外国人は、パスポートの写しのみ提出すること。

志望理由書		○	本研究科所定のものを使用してください。 4ページ「【社会人選抜】の〔注1〕」をご覧ください。
推薦書		○	本研究科所定のものを使用してください。 4ページ「【社会人選抜】の〔注1〕」をご覧ください。 ※提出は任意
研究計画書		○	本研究科所定のものを使用してください。 4ページ「【社会人選抜】の〔注1〕」をご覧ください。
研究業績調書		○	本研究科所定のものを使用してください。 4ページ「【社会人選抜】の〔注1〕」をご覧ください。
就学許可書		○	本研究科所定のものを使用してください。 4ページ「【社会人選抜】の〔注1〕」をご覧ください。 ※官公庁、会社等に在職する者に限り必要です。
学位授与証明書	出願資格 (2)のうち学位取得者	出願資格 (2)の者	大学改革支援・学位授与機構が証明したもの。 様式は特に指定しません。
専攻科修了見込 証明書	出願資格 (2)のうち学位取得見込者		在籍する短期大学長又は高等専門学校長が証明したもの。 様式は特に指定しません。
学位授与を申請する 予定である旨の 証明書	出願資格 (2)のうち学位取得見込者		在籍する短期大学長又は高等専門学校長が証明したもの。 様式は特に指定しません。

【注意事項】 外部外国語試験について

外国語（英語）の筆記試験については、TOEIC等の外部外国語試験を外国語（英語）の筆記試験に代えますので、出願時に以下に定める成績証明書等を提出してください。なお、令和5年4月以降に実施された外部外国語試験の成績証明書等を有効とします。

成績証明書等を出願期間内に持参しない場合（郵送の場合は到着しない場合）は出願を受理しませんので、十分に注意してください。

外部外国語試験	提出書類（成績証明書等）
TOEIC®Listening&Reading 公開テスト	「Official Score Certificate」の原本 ※2023年4月以降に実施された試験については「Digital Official Score Certificate（デジタル公式認定証）」を印刷したものも認める。
TOEIC®Listening&Reading IPテスト（オンラインは不可）	「Score Report」の原本
TOEFL iBT®テスト	スコア原本

外部外国語試験のスコアは、100 点満点で換算し外国語（英語）の点数とします。
以下の点数以上は 100 点とします。

TOEIC スコア	TOEFL iBT スコア
695 以上	61 以上

(4) 出願期間及び出願書類提出先

【第 1 次募集】：令和 8 年 7 月 7 日(火)から 7 月 10 日(金)17 時必着
受付時間は 9 時から 17 時までとします。

提出先：宮崎大学学び・学生支援機構入試課
〒889-2192 宮崎市学園木花台西 1 丁目 1 番地
電話 (0985) 58-7138

- ※ 持参する場合は、(3) の提出書類を全て揃えて提出してください。
- ※ 郵送する場合は、市販の角形 2 号封筒 (240mm×332mm) に (3) の提出書類を全て入れ、封筒の表に「大学院工学研究科一般選抜入学願書在中」と朱書きし、必ず一般書留・速達郵便で送付してください。(7 月 10 日(金)17 時必着)。出願期間内に到着しない場合は受理しませんので、郵便事情を考慮して十分余裕をもって発送してください。
- ※ 提出書類に不備がある場合は受理しないことがありますので、十分に注意してください。
- ※ Web 出願登録期間については、第 1 次募集では令和 8 年 6 月 30 日(火)から事前に登録可能です。第 2 次募集を実施する場合は本学ホームページによりお知らせします。
- ※ Web 出願登録システムにおいて出願情報の登録を完了しただけでは、出願手続きが完了したことにはなりません。その後、入学検定料を支払い、出願期間内に (3) の提出書類を全て持参または郵送することで完了します。

【第 2 次募集】：実施する場合、本学ホームページによりお知らせします。(P2. 参照)
<https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/graduate-exam/selection/kougaku.html>

5. 出願手続き完了及び受験票の印刷

出願手続きが完了した者は、令和 8 年 7 月 15 日 (水) 以降に、Web 出願システムの「出願状況確認」より受験票の印刷が可能となります。必ず Web 出願システムにログインし確認してください。受験票は A 4 判で印刷して試験当日必ず持参してください。令和 8 年 7 月末までに受験票が確認できない場合には、宮崎大学工学部教務・学生支援係 (0985-58-7979) へ連絡してください。

【※注意】 Web 出願システムからのメールは、「nyushi-j@miyazaki-u.ac.jp」から送信されますので、ドメイン指定受信をしている場合は、「@miyazaki-u.ac.jp」からのメールが受信できるようにあらかじめ設定してください。

6. 選抜方法

入学者の選抜は、面接試験（口述試験を含む）、書類審査の結果及び外部外国語試験の成績を総合して行います。

(1) 面接試験（口述試験を含む）

面接試験は、一般質問及び口述試験により行います。

口述試験では、卒業研究の内容や取り組みについて（卒業研究を行っていない大学の場合にはそれに代わる課題研究の内容や取り組み又は今後の研究計画について）プレゼンテーションファイルを事前に準備し、試験当日にPCを持参して発表してください。また、作成した資料を紙に印刷し、試験当日10部持参してください。発表時間は5分程度とし、その後、質疑等を行います。

なお、口述試験は学部の専門科目に関する内容を含むことがあります。

口述試験免除

本学工学部からの出願者は、書類審査により口述試験を免除することがあります。

(2) 試験日

【第1次募集】：令和8年8月18日（火）、8月19日（水）

【第2次募集】：令和9年1月下旬頃

実施する場合、本学ホームページによりお知らせします。

実施しない場合もありますのでご注意ください。

(3) 試験場 宮崎大学工学部

※試験日時、試験室等については、出願書類受理後、工学部教務・学生支援係前に掲示します。

（本学以外からの出願者については、本人宛通知します。）

7. 障がい等のある入学志願者の事前相談

障がい等があり、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、出願書類提出前に本学学び・学生支援機構入試課へご相談ください。相談内容によっては本学において事前の準備を必要とする場合がありますので、できるだけ早急にご相談ください。

次表に相談例を示しますので参考にしてください。ただし、この相談例に限定するものではありません。

(1) 相談期限

原則として、以下の日時を期限とします。

【第1次募集】：令和8年6月26日（金）まで

【第2次募集】：実施する場合、本学ホームページによりお知らせします。ただし、期限を過ぎている場合又は出願締切後に不慮の事故等のため受験上・修学上の配慮を必要とする場合については、早急に本学学び・学生支援機構入試課へ連絡してください。

(2) 相談方法

宮崎大学のホームページから相談申請書をダウンロードして次の内容を記載し、医師の診断書等を添えて提出してください。（郵送可）

- ① 志願者氏名・志望コース
- ② 障がい等の種類・程度
- ③ 受験上・修学上の配慮を希望する事項
- ④ 出身学校でとられていた配慮事項
- ⑤ 日常生活の状況
- ⑥ 住所及び連絡先の電話番号

なお、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る関係者との面談等を行うことがあります。

※相談申請書ダウンロード先：<https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/admission/1789-2.html>

(3) 相談先

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地
宮崎大学学び・学生支援機構入試課
電話 0985-58-7138 FAX 0985-58-2865 (土曜・日曜及び祝日を除く)

相 談 例	
①視覚障がい	拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は困難なもの
②聴覚障がい	話声を解することが不可能又は困難なもの（補聴器等を使用しているものを含む）
③肢体不自由	1. 肢体不自由により筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難なもの 2. 肢体不自由により、常時の医学的観察指導を必要とするもの
④ 病 弱	1. 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患により、医療又は生活規制を必要とするもの 2. 身体虚弱により、生活規制を必要とするもの
⑤発達障がい	自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がい等のため配慮を必要とするもの
⑥ そ の 他	①～⑤以外の者で配慮を必要とするもの（例：吃音など）

8. 合格発表

(1) 合格発表日時

【第1次募集】：令和8年9月1日（火） 午前10時

【第2次募集】：実施する場合、本学ホームページによりお知らせします。

合格者の受験番号を工学部教務・学生支援係前に掲示します。

(本学以外からの出願者については、本人宛通知します。)

また、本人宛に送付するメールに記載のWeb入学手続きシステムから合格通知書がダウンロード可能となります。

(2) 一般選抜「出願資格(2)の学位取得見込者」による合格者が、学位授与の申請を行わなかった場合その他学士の学位を得られないこととなった場合には、その旨を本研究科長宛に速やかに文書で通知してもらうよう短期大学長又は高等専門学校長に申し出てください。

なお、学位が得られなかった場合は不合格とします。また、学位を取得した場合は、速やかに学位授与証明書（大学改革支援・学位授与機構が証明したもの）を提出してください。

(3) 一般選抜「出願資格(7)」に該当する合格者については、これを仮合格として本人に通知します。在学中の成績が所定の要件を満たしていることを確認したのち、正式の合格者として掲示するとともに本人に通知します。そうでない場合は不合格とします。なお、成績確認に必要な学業成績証明書（3年次の成績を含む）は、**令和9年3月2日（火）**までに提出してください。

9. 入学手続、入学料等

入学手続日 令和8年12月上旬～令和9年3月下旬（予定）

※手続期間等の詳細は、出願時のメールアドレスに入学手続に関する案内を送信します。

入学料 282,000円

※入学料に改定があった場合には、改定後の入学料を納入してください。

※納入された入学料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

- ① 入学料を払い込んだが、入学手続をしなかった場合
- ② 入学料を誤って二重に振り込んだ場合

※返還にかかる手数料は、原則、納入者の負担とします。

授業料 年額 535,800円（前期 267,900円、後期 267,900円）

※授業料は新学期開始後に納入してください。

※授業料の納入は、原則として、預金口座からの「口座振替」とします。

※前期の口座振替日は初年度は5月下旬頃、次年度以降は4月下旬頃の予定です。

後期の口座振替日は10月下旬頃の予定です。

※授業料に改定があった場合は、改定後の授業料を納入してください。

※在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

※授業料に関する事項は以下のホームページに記載しますのでご確認ください。

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/manabi-jim/campus-life-info/school-and-admissionfee/>



※入学料・授業料については宮崎大学財務部財務課出納係にお問い合わせください。

宮崎大学財務部財務課出納係 電話：0985-58-7122（ダイヤルイン）

10. 注意事項

(1) 一般選抜「出願資格(7)、(10)または(11)」、社会人選抜「出願資格(9)または(10)」による志願者は、特別に必要な提出書類がありますので、宮崎大学工学部教務・学生支援係宛に申し出てください。必要提出書類の郵送を希望する場合は、宛先明記の返信用封筒（角形2号に570円分切手貼付、速達料込）を同封してください。

(2) Web出願登録システムにおいて出願登録を完了した後は、志望コースなどの訂正、変更及び提出書類の返却には応じません。

(3) 出願書類に不備がある場合は受理しないことがありますので、十分に注意してください。

(4) 出願書類を受理した後は、以下の場合を除き、振込済の検定料は返還しません。

- ① 検定料を振り込んだが本学に出願しなかった（出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合

※Web出願登録システムにおいて出願情報の登録を完了しただけでは、出願手続きは完了しません。その後、入学検定料を支払い、受付期間内に必要な書類を全て提出することで完了します。

- ② 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

※入学検定料返還手続きについて

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/admission/nk-henkan.html>



なお、返還にかかる手数料は、原則、志願者本人の負担とします。

また、令和9年4月1日以降に申し出られた場合、返還に応じることは出来ませんのでご了承ください。

- (5) 一般選抜「出願資格(7)」による合格者が本研究科へ入学する場合は、在学している大学を退学することになり、各種国家試験の受験資格で、大学の学部卒業が要件になっているものについては、受験資格がないこととなります。

1 1. 個人情報の取扱いについて

- (1) 個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人宮崎大学個人情報保護規則」に基づいて取り扱います。
- (2) 出願に当たって取得した氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用します。
- (3) 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用します。
- (4) 上記(2)及び(3)の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より該当業務の委託を受けた業者において行うことがあります。
- (5) 出願に当たって取得した個人情報は、入学者のみ①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、入学料免除、授業料免除、奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

問い合わせ先

(Web出願システムの操作・登録方法等に関すること)

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地
宮崎大学学び・学生支援機構入試課
電話 (0985) 58-7138

(上記以外に関すること)

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地
宮崎大学工学部教務・学生支援係
電話 (0985) 58-7979 (ダイヤルイン)
E-mail: eng-m@miyazaki-u.ac.jp

担当教員と主な研究課題

コース	職名	担当教員	主な研究課題	教員担当プログラム等
先端情報コース	教授	大島 達也	回帰分析を活用した分離・製剤分野への材料開発研究	応用物質化学プログラム
	教授	西岡 賢祐	高品質半導体デバイスの作製に関する研究	電気電子工学プログラム
	教授	川末 紀功仁	ロボットビジョンを用いた三次元計測	機械知能工学プログラム
	教授	田村 宏樹	生体信号を用いたインタフェース機器に関する研究	電気電子工学プログラム
	教授	奥山 勇治	実験とデータ科学を融合したイオン伝導性材料の開発とデバイス応用に関する研究	応用物質化学プログラム
	教授	荒井 昌和	半導体発光・受光デバイスと光センシングの農業応用の研究	応用物理工学プログラム
	教授	山子 剛	生体機能および医療デバイスに関するバイオメカニクス研究	機械知能工学プログラム
	教授	武居 周	高性能電磁界解析手法の開発と有効利用技術に関する研究	電気電子工学プログラム
	准教授	永岡 章	環境調和した多元系熱電変換材料開発に関する研究	電気電子工学プログラム
	准教授	太田 靖之	太陽光エネルギーと集光システムの高度利用技術開発	電気電子工学プログラム
	准教授	佐藤 大輔	光・熱エネルギーの高効率変換と制御に関する研究	電気電子工学プログラム
	教授	Thi Thi Zin	画像処理応用に関する研究	情報通信工学プログラム
	教授	岡崎 直宣	セキュアネットワークの構築に関する研究	情報通信工学プログラム
	教授	片山 徹郎	ソフトウェアの生成支援と信頼性向上に関する研究	情報通信工学プログラム
	教授	椋木 雅之	画像認識、コンピュータビジョン、映像メディア処理に関する研究	情報通信工学プログラム
	教授	山森 一人	ニューラルネットワーク・進化型計算の高速並列処理と応用に関する情報工学的研究	情報通信工学プログラム
	教授	内山 良一	医療AI・医療データサイエンスに関する研究	情報通信工学プログラム
	教授	油田 健太郎	コンピュータネットワークとその応用	情報通信工学プログラム
	教授	飯田 雅人	偏微分方程式を利用した個体群ダイナミクスの研究	工学基礎教育センター (情報通信工学プログラム)
	教授	今 隆助	生物現象の数理解析と数理解析に関する研究	工学基礎教育センター (情報通信工学プログラム)
	准教授	中 良弘	光通信デバイスの数値解析及び設計に関する研究	情報通信工学プログラム
	准教授	横道 政裕	自律移動ロボットおよびロボットビジョンに関する情報工学的研究	情報通信工学プログラム
	准教授	池田 諭	確率的アルゴリズムの最適化に関する研究	工学基礎教育センター (情報通信工学プログラム)
	准教授	伊達 章	学習・記憶、自己組織化モデルの数理解析に関する研究	情報通信工学プログラム
	准教授	井上 健太郎	生命情報学およびシステム生物学に関する研究	情報通信工学プログラム
	准教授	青木 謙二	計算科学的手法による生体情報処理メカニズムの研究	情報基盤センター (情報通信工学プログラム)
	准教授	山場 久昭	生産システムの運用・設計への計算機システムの援用に関する研究	情報通信工学プログラム
	准教授	梅原 守道	流体现象の数学解析的研究	工学基礎教育センター (情報通信工学プログラム)
	准教授	小林 俊介	非線形偏微分方程式における解の時空間パターン解析とその応用	工学基礎教育センター (情報通信工学プログラム)
	助教	高橋 伸弥	制御工学の応用に関する研究	情報通信工学プログラム

コース	職名	担当教員	主な研究課題	教員担当プログラム等
環境 コース	教授	白上 努	金属錯体を利用した光機能的な新材料開発に関する研究	応用物質化学プログラム
	教授	井澤 浩則	天然高分子を利用した新規機能材料の創製に関する研究	応用物質化学プログラム
	教授	酒井 剛	固体高分子型燃料電池用電極触媒の開発	応用物質化学プログラム
	教授	菅本 和寛	生物活性天然化合物の合成と評価に関する研究	応用物質化学プログラム
	准教授	鍋谷 悠	分子系包接環境の光化学と機能発現に関する研究	応用物質化学プログラム
	准教授	廣瀬 遵	環境中の微生物による芳香族化合物の変換に関する研究	応用物質化学プログラム
	准教授	松根 英樹	動的構造変化を示す機能的ナノ粒子に関する研究	応用物質化学プログラム
	准教授	松本 仁	光機能的な両親媒性化合物の合成と組織化に関する研究	応用物質化学プログラム
	准教授	宇都 卓也	生体高分子や電解質の分子シミュレーション研究	応用物質化学プログラム
	准教授	大榮 薫	吸着・イオン交換を利用した分離技術および環境保全技術に関する研究	工学基礎教育センター (応用物質化学プログラム)
	准教授	松永 直樹	アルカリ形燃料電池用電極触媒の開発	応用物質化学プログラム
	准教授	稲田 飛鳥	自己組織化を利用した製剤技術に関する研究	応用物質化学プログラム
	助教	宮武 宗利	微生物機能を利用した環境浄化・修復に関する研究	応用物質化学プログラム
	教授	入江 光輝	水資源・水環境管理、河川防災に関する研究	土木環境工学プログラム
	教授	末次 大輔	軟弱地盤の改良に関する研究	土木環境工学プログラム
	教授	鈴木 祥広	水環境における水質保全と修復技術の開発に関する研究	土木環境工学プログラム
	教授	森田 千尋	鋼橋梁の構造解析と健全度評価に関する研究	土木環境工学プログラム
	准教授	関戸 知雄	廃棄物処理残渣の有効利用と環境影響に関する研究	土木環境工学プログラム
	准教授	福林 良典	路床・路盤補強工や地盤災害対策工に関する研究	土木環境工学プログラム
	准教授	李 春鶴	高性能コンクリートの開発および性能評価に関する研究	土木環境工学プログラム
	准教授	糠澤 桂	河川の水環境・生態系保全と防災に関する研究	土木環境工学プログラム
	准教授	中野 敦	表面処理鋼板の大気暴露特性に関する研究	地域資源創成学部 (土木環境工学プログラム)
助教	神山 惇	土工構造物の防災機能の向上に関する研究	土木環境工学プログラム	

コース	職名	担当教員	主な研究課題	教員担当プログラム等
電気・半導体コース	教授	吉野 賢二	低コスト高効率太陽電池の開発	電気電子工学プログラム
	教授	迫田 達也	電気エネルギーの効率的運用と保守に関する研究	電気電子工学プログラム
	教授	淡野 公一	アナログ集積回路の高性能化および高機能化に関する研究	電気電子工学プログラム
	教授	穂高 一条	ワイヤレス給電システムの数値最適化と制御理論に関する研究	電気電子工学プログラム
	教授	出原 浩史	反応拡散系におけるパターン形成の数値	工学基礎教育センター (電気電子工学プログラム)
	准教授	加来 昌典	レーザーと物質の相互作用を利用した短波長光源の開発と応用に関する研究	電気電子工学プログラム
	准教授	甲藤 正人	高強度レーザーの開発とその応用に関する研究	研究・産学地域連携推進機構 (電気電子工学プログラム)
	准教授	東 智弘	エネルギー変換を指向した半導体材料の触媒機能設計に関する研究	電気電子工学プログラム
	教授	福山 敦彦	量子ナノ構造半導体の光学的・電気的特性評価とデバイス応用に関する研究	応用物理学プログラム
	教授	森 浩二	天文衛星搭載用半導体放射線検出器の開発と天文衛星を用いた宇宙高エネルギー現象の観測的研究	応用物理学プログラム
	教授	五十嵐 明則	原子衝突の理論的研究	工学基礎教育センター (応用物理学プログラム)
	准教授	鈴木 秀俊	超高効率集光型多接合太陽電池用新材料の研究	応用物理学プログラム
	准教授	武田 彩希	半導体放射線検出器と物理計測システムの研究	応用物理学プログラム
	准教授	前田 幸重	原子核における多体効果の実験的研究と同位体標的の開発	応用物理学プログラム
	准教授	境 健太郎	半導体等の機能性材料の開発と物性評価に関する研究	研究・産学地域連携推進機構 (応用物理学プログラム)
	准教授	浅見 明太	再生可能エネルギー社会に資する太陽光を電気・熱・水素に変換する次世代半導体デバイスの開発と応用	応用物理学プログラム
	助教	亀山 晃弘	光ファイバーセンサーの開発とその応用	応用物理学プログラム
助教	鈴木 寛大	宇宙の高エネルギー現象の観測とそのため半導体放射線検出器の開発	応用物理学プログラム	

コース	職名	担当教員	主な研究課題	教員担当プログラム等
機械 コース	教授	河村 隆介	機能材料と構造の力学に関する研究	機械知能工学プログラム
	教授	李 根浩	日常生活を支援するロボット開発と制御手法の研究	機械知能工学プログラム
	准教授	大西 修	精密微細加工に関する研究	機械知能工学プログラム
	准教授	盆子原 康博	機械システムの振動抑制に関する研究	機械知能工学プログラム
	准教授	宮内 優	生体内の流動現象に関する研究	機械知能工学プログラム
	准教授	舩屋 賢	人と親和性の高いロボット技術の研究開発	機械知能工学プログラム
	准教授	藤川 俊秀	EFD・CFD・気泡力学の融合による高速流動液中でのキャビテーション発生の解明と制御に関する研究	機械知能工学プログラム
	助教	古池 仁暢	機械要素のトライボロジーに関する研究	機械知能工学プログラム